



今高野山より大田平野を望む(国は秀でて古くより 大田の庄とひらけたり…)

世羅高 同窓会会報

発行
広島県立世羅高等学校
同窓会報編集委員会
世羅郡世羅町本郷870番地

第三号発刊によせて



同窓会長 小島 敏文

同窓会報第三号の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。会員の皆様方には、本会の運営につきまして、日頃から格別のご理解とご協力をいただいております。厚くお礼を申し上げます。

さて、いよいよ二十一世紀の幕開けの年を迎えました。広島県は文部省の是正指導を受けてから三年が経過し、その間、関係者の努力により一定の成果をあげることができました。

広島県の教育委員会事務局も新たに常盤 豊教育長を迎え、二十一世紀に向けた新たな歩みを始めたいです。

私たちの母校である世羅高等学校の生徒は頭髪や服装の面もずいぶんと落ち着きを見せ、問題行動も激減するなど、地域の信頼も大きく回復しつつあります。

来年度から本格実施となる学校

完全週五日制への対応や生徒の基礎基本の徹底や選択幅の拡大に対応するために、世羅高等学校は今年度から全国に先駆けて二期制・七時間授業を実施しています。

また、来年度から生徒の多様な進路希望に対応するために、総合選択制を導入することも決まっています。

さらに、国際化への対応の一環としてケニア共和国からジェシクタ・ワンジロ・ムタヒ先生を迎えて英語教育や陸上競技の指導の充実に努めたり、留学生を招致することの検討も行われています。

同窓会としても母校の世羅高等学校の将来に大きな期待をしているところであり、こうした世羅高等学校の取り組みに対して、「世羅高等学校を育てる会」を中心に積極的に学校を支援しているところでもあります。

まず、昨年度から県教育委員会に要望していましたが、増改築がこの十二月には完成することになっており、まもなく冷暖房完備の二人部屋の近代的な寮が完成することと思えます。この寮を中心に、陸上部をはじめとする部活動の活性化を図るとともに学区の広域化への対応を積極的に進めていたきたいと思えます。

さらに、来年度から総合選択制が導入されることになっており、それに伴って、多目的教室の建設も始まります。すでに設計も終わ

り、来年早々から工事が始まる予定です。

次に同窓会館の整備充実を図りたいと思えます。とりあえず今年度は二階の和室にエア・コンを入れ、同窓会の各種会合が快適に行なわれるようにしたところですが、来年度から本格実施となる学校完全週五日制への対応もあり、同窓会館で希望生徒がサテライトの受講をしたり、各種の合宿などができるように、同窓会館の施設の充実を検討したいと思っています。

第三は国際化への対応の支援です。世羅高等学校は世羅町や甲山町、世羅西町の賛同も得て、国際交流推進会議を立ち上げ、ケニア共和国をはじめ、セネガルなどのアフリカをはじめとする海外の高校との国際交流を推進しており、同窓会としても支援をしていきたいと思っています。

世羅高等学校の同窓生は台湾をはじめ、ブラジルなど世界各国で活躍しています。こうした同窓生の連携を図り、ケニア共和国やセネガルだけでなく台湾やブラジルなどの姉妹校提携や交換留学生の招致、修学旅行などの交流を援助していきたいと思っています。

世羅台地が、世羅高等学校はもちろんですが小学校や中学校を含めて、全国に先駆けた特色ある教育活動の研究開発を進められ、世羅台地の魅力づくりや活性化に大きく貢献することを期待していま

す。世羅台地の二十一世紀を切り拓く教育活動をばねとして、世羅台地の農業をはじめ工業や観光などの経済活動が活性化することを期待するとともに、皆様の益々のご発展を祈念してご挨拶と致します。

「自分を磨け。そして二十一世紀を切り拓く人になれ！」

世羅高等学校はこういう教育を目指しています



校長 田邊 康嗣

二十世紀の幕が降り、いよいよ二十一世紀の幕が開けました。しかし、広島県立世羅高等学校を取り巻く課題は山積しています。

世界的な視点でその課題を考えると、二十世紀初頭の人口は十六億人でしたが、二十一世紀初頭の現在は六十五億人になっています。二十一世紀半ばには九十億人程度になると予想されています。こうした人口の増加に対応するための食料の増産は森林などの自然破壊をもたらしています。また先進国を中心とした生活の

近代化に伴うエネルギーの大量消費は、地球の温暖化やオゾン層の破壊などの深刻な環境破壊をもたらしています。

さらに、世界の経済情勢は情報通信技術の飛躍的発展や資本の移動など、経済のグローバル化が進む一方で、アメリカで起こった、世界を震撼させる同時多発テロなど、世界の政治情勢は文化や文明・宗教を中心とした新しい枠組みづくりが進むとともにそのきしみや摩擦が起こっています。

次に日本的な視点で見ますと、バブル崩壊以後、金融機関の不良債権等の問題をはじめとした日本経済をめぐるさまざまな問題が噴出し、景気は低迷し、失業率も5%という高い水準で推移しており、この世羅台地にも不況感が重たくのしかかっています。

また、生徒急減期の到来とともに世羅台地にも町村合併が目前に迫っており、新学習指導要領や完全学校週五日制の実施など、世羅高等学校を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。

こうして見ますと、まさに二十一世紀は大きな時代の転換点に位置しているということができ、二十一世紀の地球規模の課題の解決に貢献できる人材を育成する骨太の教育が二十一世紀を切り拓く学校として世羅高等学校に求められている役割であると言えます。

そのため、世羅高等学校は、平

成十三年度より二期制・七時間授業(四十五分)を実施しています。これは平成十四年度から学校週五日制が完全実施となるため、週当たりの授業時間は現在三十二単位からさらに二単位減少して三十単位時間になります。しかし、二期制七時間授業(四十五分)を実施すれば、逆に週当たりの授業時間は現在よりも三単位増えて三十五単位時間になり、基礎基本の徹底と選択幅の拡大による個に応じた教育内容を充実させることができるのがねらいです。

また平成十四年度より総合選択制を導入することとしています。このメリットは各教科の系統性や専門性を生かした専門科目の履修ができ、なおかつ専門学科相互及び普通科と専門学科の枠を越えた履修が可能となり、系統性と総合性を兼ね備えた、より細かい進路希望に応じた「学びたい学問」の追求ができるようになります。

総合学科は単純な選択幅の拡大で、系統的な深い学習ができませんが、総合選択制は系統性と総合性を生かした二十一世紀の新しいタイプの制度ということができま

す。さらに、情報化・国際化への対応は二十一世紀の日本の大きな課題であり、その一環としてカナダからALT一名が来ています。今年度から英語の非常勤講師としてジェシント・ワンジロ・ムタヒ先

生を迎えるとともに、ケニア共和国との姉妹校提携や留学生を招致することを検討していますし、セネガルとの姉妹校提携も検討しています。

また本校の同窓生を中心に台湾やブラジルとの交流も準備したり、総合的な学習の一環として自己探求・地域探究・国際探究を柱とした総合的な学習や国際理解学の研究開発を行なっています。

今後は、二十一世紀を切り拓く人材の育成を図るために、一人一人の持つ能力の早期伸長をめざす進路探求科(仮称)の設置や専門学科の改編充実など、教育内容の大胆な見直しを図っていきたくと思

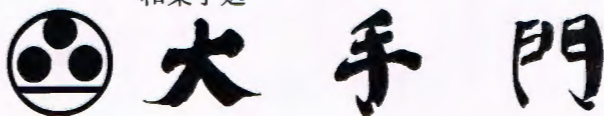
います。また、学校週五日制への対応や国際化・情報化への対応は、世羅高等学校はもちろんのことですが小・中学校の課題でもあります。世羅台地の小学校や中学校との連携を一層図り、世羅台地の活力を生むような教育内容の研究開発を図っていきたくと思

います。世羅高等学校は、世羅郡内の小学校や中学校のみならず地域の農業・工業・福祉関連産業や関係機関等との連携を図り、二十一世紀を切り拓く人材を育成する学校として教育内容の充実に向けて断

断の努力をしていきますので、引き続き、世羅高等学校に対

大田庄の自然と四季をお菓子につづり

和菓子処



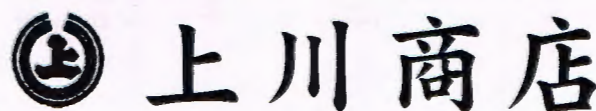
甲山町甲山95 ☎2-5143

橋田製あん ☎2-0343(代)・FAX2-0634

(株)はしだ 橋田満樹 ☎2-3933・FAX2-3935

豆腐・油揚げ・二次加工品 製造卸

広島県世羅郡甲山町大字甲山205番地



TEL (08472) 2-0676

FAX (08472) 2-3920

学校の現状

進路指導部

本校生徒の進路希望は、普通科・

専門学科からなる総合制高校であるということもあり、国公立大学から公務員・一般企業就職までという大変幅広いものとなっております。進路指導においては、その進路希望実現のために、進学・就職受験に対応できる学力を身につけること、社会に通用しうる服装・言葉使いなどの生活態度を育成することに重点をおいて指導を行っています。

まず、学習指導については、今年度からの四十五分七時間授業に加え、月曜日から金曜日まで早朝にサテライト(河合塾の衛星放送の授業)による補習を行い、放課後に英語・国語・数学の補習授業を行っています。特に三年生については、理科・社会も加え、早朝・昼休み・放課後2時間・夏休みのほとんどの時間を活用した受験指導を行い、遠方の塾や予備校に通わなくても学力の向上が図れるようにしています。

また、長期休業中に各学年(一学年・秋休み、二学年・夏休み、三学年・春・夏休み)学習合宿を行って、自らの進路希望への意識付けや自主学習習慣の確立を図っており、合宿後の生徒は合宿前と

は表情が変わってきています。

近年の進学の状況は、大学入試において国公立大学などの難関とよばれる大学と、入学希望者が定員に満たないなどの比較的簡単に入れる大学との二極化がさらに広がってきています。受験学力をつけることと同時に、自分の将来の希望のことを十分に考えた上で、大学選びが大事になってきます。本校でも一年次から「総合的な学習の時間」などを用いて、早い段階から進路に対する目的意識を持てるような指導を実施しています。

また、大学・専門学校などについては、推薦入学(大学は県内の私大を中心に四十一大学七十八人分、短大も全国から三十一短大六十二人分の枠があります)やAO入試による進学者が増えてきており、小論文指導や面接指導の重要性が以前にもまして高まってきました。本校も小論文については職員全体による講習会を行い、国語科の職員を中心として指導し、面接については校長・教頭をはじめととしてすべての教職員で指導を行うという態勢で臨んでいます。

就職の方については、年々高校生の就職が難しくなってきており、昨年度まで高校生全体の決定率が五十%そこそこといわれる中で九十%を超える決定率を維持してきました本校でも苦戦が予想されますが、約三十名の就職希望者の生徒たちは鋭意努力を続けています。

就職指導としては、二年次より

就職希望者に対して模擬試験を実施し、三月には一・二年生を対象に各方面で活躍されている卒業生を学校に招き、進路講演会を開催し、社会人としての心構えや入社試験のための対策などの話をしていただいています。三年次には模擬試験の回数も増え、試験の解説を中心とした補習授業や面接指導も行っています。今年度も九月には外部より講師の方をお招きしての「マナー講習会」を開き、面接試験に対する態度・心構えなどを指導していただきました。学校側として、今後も企業開拓・企業訪問などを精力的に行い、一人でも多くの生徒が希望の業種・職種に就職できるように頑張っていきたいと思えます。

これからの取り組みを通して伝統ある世羅高校として誇れるような進路実績をあげていき、世羅台地の明日を担う人材の育成をすべく、学校全体をあげての進路指導に頑張っているところです。同窓生の皆様の今後の一層のご協力、ご支援をよろしくお願い致します。

前年度のPTA総会、地区懇談会その他、地域の方々等の意見を踏まえながら、「地域に認められる生徒、学校創り」を推し進めてきました。三年目を迎えた朝の声

かけ運動に見受けられる様に、保

護者の方々の地道な協力に、最初は、無関心で声もあまり出ていなかった生徒達も、次第と顔も上がり挨拶を返してくれる様になりました。同時に生活上の指導に対しても、反発から自らを省りみる雰囲気に移行しつつあると思います。今年度も大きく三つの目標を掲げて取り組みを進めています。それは、

①頭髪、服装指導についても全教員であたることは勿論ですが、生徒に対して同一の基準で指導を行う事が大切です。昨年と同様に、ルールに違反している生徒については、改善し再び登校する「帰宅指導」を行っています。頭髪の違反もかなり少なくなってきました。と同時に直るまで係りが毎日数人で検査する事で徹底を図っています。引き続き地道に指導してゆきたいと思えます。

②巡回指導を授業の間の休憩時間に行い、授業への無断遅刻、欠課を防止する対策をしています。各教科担当の職員と連携しながら、落ち着いた中での授業が進められ

測量・設計・調査

久保測量株式会社

代表取締役 久保雅昭

〒722-1112

広島県世羅郡世羅町本郷705番地6

TEL(08472)2-0437 FAX(08472)2-0770

洗練された オシャレ感覚

美しいきものとレディーファッション

奥呉服店

広島県世羅郡甲山町本通り
TEL(08472)2-0006 FAX(08472)2-0006

卒業生	奥 八 ナ (昭3年)	奥 照 枝 (昭17年)
	奥 ヤスヨ (昭5年)	奥(浦谷)智子 (昭36年)
	奥 幸 夫 (昭16年)	奥 友 孝 (昭62年)
	浦谷(奥)ミチ工 (昭8年)	奥 仁 志 (平3年)

るよう努力して行きたいと思いま

す。③校門指導は朝と昼に行つていま

す。遅刻防止が主な目的ですが、依然としてホームルーム開始前後の駆け込み状態の改善は、今後の課題であると思います。昼休憩の外出は許可書を持つ事を生徒に呼びかけ、無断での外出禁止のルールとしていきます。これも前年よりは改善が見受けられる様になりました。その他、携帯電話の校内使用や学校内外での喫煙、自転車の二人乗り等の交通マナー、バイク免許無断取得など学校全体で解決すべき問題は多く残されています。生徒の問題行動の背景には、個々の家庭状況や、抱えている課題もあり、一人ひとりの生徒に対するきめ細かい指導が必要となります。総体的には年々落ち着きを取り戻してきている状態にはありますが、生徒に将来の目標を具体的に持たせ、そのためには今、何が必要か、何をやらせなければいけないのかを更に指導して行く必要があると思

います。学校と家庭との連携を密にしながら、一人ひとりの生徒が有意義な高校生活が過ごせる様に今後も皆様のご協力をお願い致します。

普通科の生徒の進路希望は、国立大学をはじめとする進学から公務員をはじめとする就職まで多岐にわたつていきます。そのため、学力をつけていくことが何より大切であり、二次次より数学の授業を重視した理系と国語を重視した文系に授業が分かれます。また、三年次には、自分の進路や興味に応じて、より幅広く授業選択ができるカリキュラムになっていきます。さらに、一年次より英語・数学・国語を中心とした補習授業、河合塾の衛星放送の講座(サテライト)を使つての早朝講習を行つており、多くの生徒が参加しています。今春の普通科(三クラス)卒業生のなかには、国立大学に六名、公務員に六名の合格者がいます。これは、都市部の高校に決して見劣りしない結果だと思

います。また、今年の文化祭では、普通科三年生の伝統であつた演劇の上演が復活しました。各クラスともに、授業や補習などで時間のな

い中、生徒が一丸となつて、遅くまで学校に居残り練習を重ね準備をした結果、当日の発表では、観客に多くの感動を与えてくれました。この時の頑張りと、上演後の充実感

は、今後の人生の中の大きな糧

学科の現状

普通科

普通科の生徒の進路希望は、国立大学をはじめとする進学から公務員をはじめとする就職まで多岐にわたつていきます。そのため、学力をつけていくことが何より大切であり、二次次より数学の授業を重視した理系と国語を重視した文系に授業が分かれます。また、三年次には、自分の進路や興味に応じて、より幅広く授業選択ができるカリキュラムになっていきます。さらに、一年次より英語・数学・国語を中心とした補習授業、河合塾の衛星放送の講座(サテライト)を使つての早朝講習を行つており、多くの生徒が参加しています。今春の普通科(三クラス)卒業生のなかには、国立大学に六名、公務員に六名の合格者がいます。これは、都市部の高校に決して見劣りしない結果だと思

います。また、今年の文化祭では、普通科三年生の伝統であつた演劇の上演が復活しました。各クラスともに、授業や補習などで時間のな

い中、生徒が一丸となつて、遅くまで学校に居残り練習を重ね準備をした結果、当日の発表では、観客に多くの感動を与えてくれました。この時の頑張りと、上演後の充実感

は、今後の人生の中の大きな糧

となるのではないかと思います。すべての生徒に満足のいく進路が保障できるように今後とも努力をしていきたいと思

生産情報科

一九九三年の学科改編以来、情報化時代にあわせコンピュータや簿記を学ぶ情報処理コースと、生物工学の先端技術を活用しながら地域農業を学ぶ生物工学コースを併設しています。農業学科の特色を生かし、プラ

ンター花壇を年間約八百作り、地域社会との関わりを深めるためそのうちの約五百を高校の近所に配布しています。春夏はサルビアとマリゴールドとペチュニア、秋冬は葉ボタンとパンジー(三色すみれ)というように季節に合わせた花を提供し、大変喜ばれています。また、校内緑化活動の一環として、PTAによる校庭への花の

植え付け、玄関周辺の植栽なども行つて

います。情報処理コースでは、コンピュータを活用した授業を積極的に展開

しています。このたび生産情報科3年生清光愛聖さんが農業クラブの農業情報処理競技広島県大会で最優秀賞を獲得し、千葉県で十月に開催された全国大会へ参加し、優秀賞に輝きました。

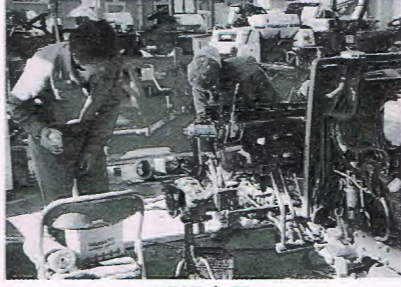
一方、本校国際交流の一環としてケニア共和国からの留学生が生産情報科で学ぶ予定です。

また、生産情報科では各学年で校外実習を行つて

います。この5月には1年生全員が1週間の先進農家実習に参加しました。農家実習を通して、社会体験や農業体験ができ、有意義な実習でした。

生産情報科の諸活動に今後とも更なるご協力をお願いします。

環境科学科



現場実習

一九九二年に学科改編を行い、今年で九年目を迎えています。この間、六度の卒業生を送り出して

います。一期生の中には家庭をもつ人も増えてきており、社会的責任を果たしながら、さまざまな分野で公私ともに活躍しています。

環境科学科では、グローバルな視野を持った技術者の育成を目標にしています。二一世紀を担う産業人を育成するために、時代に

電気設備・計装設備 設計施行/電化販売
消防設備・空調設備

新宅電業(有)

世羅郡世羅町大字寺町1177-1
TEL (08472) 2-0661(代表) FAX (08472) 2-4066

一般住宅建築業
(広島県知事許可第27096号)

(有)迫田建具センター

お住いの設計お手伝いします
お気軽にお電話下さい。

世羅町本郷 ☎(08472) 2-1757
FAX 2-3446

じた教育内容づくりとして、「森林保全活動」や「IT技術」等のキーワードのもとに、魅力ある科

学づくりを進めています。知識のみならず、さまざまな分野での活躍と信頼される「人間の

生活福祉科



保育実習

生活福祉科に学科改編して、はや九年目を迎え、学科の教育内容

も少しずつ理解して頂く中から、年々地域での交流も広くまた深く

なリ、様々な教育活動を実践することができるようになりました。昨年からは「地域福祉実践」と

ケースをプレゼントしました。「ありがとう」「これからも頑張つてね」と目を細めて言ってくたさ

る高齢者の方々と心の交流が、次への意欲につながっています。今年度からは、スペシャリスト

バンクに登録して頂いた高齢者の方々から、二年生が月に一回定期的

にゲートボールを指導して頂いたり、銭太鼓や手芸などのご指導も頂いています。これらのことも

生徒会活動

生徒会は、生徒の自主的な活動を保障する場として、位置づいて

おり、生徒会本部は、会長・広報・渉外等の役員で成り立っています。生徒会本部は、年間の生徒会行

事の計画を立て、各委員会と連携を図りながら、行事の成功を目標に取り組みを積み重ねています。新入生歓迎オリエンテーション

思いで努力しています。文化祭では文化祭実行委員会が、体育祭や球技大会では体育委員会が、歓迎

会や予餞会では生徒委員会が、クリン大作戦では保健委員会が、その行事のリーダーシップを取り、

運営します。各委員長は、生徒会本部や先生方の協力を得ながら、

生徒全員が参加して行く行事になるように準備し、当日を迎えるわけ



文化祭 演劇

今年度、二学期制・七時間授業

がスタートしたこともあり、年度当初から本部役員と顧問で、行事日程や内容について何度も話し合

本主に準備等が大変でした。しかし文化祭では、昨年度行なわれな

かった三年生の演劇を復活することができました。普通科三クラス

それぞれに、台本から書き上げて、衣装・大道具・小道具とすべてク

ラス全員での手作りの素晴らしい演劇発表になったと思います。各

クラスの展示やバザーも工夫をこらし、PTAのリサイクルバザー

の参加もあり、あつという間の一日半でした。反省点も沢山ありま

したが、天気も良く保護者の来校も例年よりずっと多く、暖かい文

化祭になったのではないかと感じました。



体育祭 男子組体操

より美しく明日へ



株式会社 TAMAYA GREEN co.,ltd.

タマヤグリーン

代表取締役 玉谷 邦宏 (H2年卒)

広島県世羅郡世羅町本郷661-1
TEL (08472) 2-3001(代) FAX (08472) 2-2228
E-mail : tamaya@ninus.ocn.ne.jp

株式会社 田中商店

代表取締役 田中 信博

TEL (08472) 2-0026

生徒会の協力で無事終了することができました。今年度は体育の授業で取り組んできた男子「組体操」と女子「民舞」の集団演技もあり、生徒の充実感もあつたようです。秋晴れの青空のもとに、生徒達の大きな歓声と輝く笑顔は、世羅高校の宝だと心動かされました。



体育祭 女子民舞

七月に生徒会本部の役員改選があり、一年生を中心にした新生徒会本部がスタートしています。本部会で今後の方針等を話し合いましたが、とにかく生徒会本部と全校生徒が近い関係でありたいとの願いから、毎月一回、第一水曜日に生徒朝礼を実施することを決めました。生徒会通信「つばさ」も引き続き発行し、朝礼や通信で生徒会本部と全校生徒との関係を深めていきたいと考えています。ま

た世羅高校をきれいにしたいの思いから、校内美化活動やクリーン大作戦も今までにない企画を考えたといはりきっています。本部会や委員会の活動は、日々地道にコツコツ積み重ねて行くものなので、話し合いをしながら、継続した活動になるようにしていきたいと思っています。

クラブ活動

七時間目の授業が終わった途端生徒の音がグラウンドや体育館、教室からこだまします。限られた時間の中で生徒は日々、一生懸命に活動に励んでおります。その甲斐あって、生徒は確実に力をつけて、諸大会で「世羅」の名をとどろかせています。



陸上競技部は、八月に熊本で行われた全国高校総体1500mに村上君(三年)が出場したのを筆頭に諸大会で個人々が好成績を残しております。

去る十一月三日(女子) 四日(男子)におこなわれた、県高校駅伝では女子は十二位、男子は健闘むなしく十五秒差で県代表を勝ち取ることが出来ませんでした。部員は次の日から、来年の全国大会出場を目指し日々練習に励んでいます。



二年生中心の野球部は去る七月の高校野球地区大会では庄原格致高に惜敗しましたが、新チーム結成後、最初の公式戦である春のセンバツにつながる秋季県大会では、二回戦で広陵高校に大敗しましたが、その経験は生徒を一回り大き

くさせたようです。剣道部女子は昨年に続いて、金谷・石路(三年)が六月の中国大会に出場し、高校クラブ生活の最終の美を飾りました。後に続く二年生六名は高校入学後初めて竹刀を持った生徒が多いのですが、先輩に続けと着実に力を付けています。

バレー部女子も昨年四月、ゼロからの再スタートを切り、その時の新入生が今では心技体とも成長し、秋の大会に備えている段階です。是非とも勝利を重ねてもらいたいものです。

また、サッカー部・ソフトテニス部・バスケット部・ソフトボール部なども尾三地区の大会で勝利を収め、県大会に確実に出場できる力をつけています。

文化部も美術・書道部を中心に様々な作品展やコンクールに出品しており高い評価を受けています。吹奏楽部も地域の催しに積極的に参加しており、運動部に負けじと技術の向上に努めています。

その他、どのクラブも力を十二分に発揮しています。最近、地域の方から「グラウンドでどのクラブも一生懸命頑張っている、この数年の中でも一番ですね」という声をよく耳にします。地域の方からの応援を背に受け、今後とも生徒とともに精進していきたいと思っています。ご支援よろしくお願致します。

仕出し料理・お弁当

つるや

広島県世羅郡甲山町甲山
TEL (08472) 2-0122

進物の玉浦

☎08472-2-1107

FAX. 08472-2-1567



〒722-1121
世羅郡甲山町西上原612-2
営業時間/AM8:00~PM7:00
年中無休



寄宿舎増改築 工事の一部完成



増改築された寄宿舎

本校の寄宿舎「冀北寮」の増改築工事のうち、増改築工事がこのほど終わり、九月二十六日は朝から保護者の方にも手伝っていた。だき引つ越しを行い使用開始しました。

寮生の、大半が陸上部員で、新しい環境で競技成績向上と勉学に励んでいます。

建て増しされたのは、鉄筋二階建て延べ約三百四十平方メートル、従来の寮(鉄筋二階延べ約七百六十平方メートル)は昭和五十七年に建築され、現在三十六人が入居し、男子用十室で生活しています。今までのように、一室に四人入居という生活環境では「最近の生徒には受入れにくい」という声があり、今回の工事で十八室にほぼ倍増しました。これからは、

一室二人になり、エアコンも設置しております。増改築の総事業費が約一億二千三百万円。今年の十二月中旬までに既存建物男子寮の一、二階のリフレッシュ工事が行われ、すべて完了する予定です。

世羅高で私の 目指すもの



私はジェシ
ンタ・ワンジ
ロ・ムタヒで
「ジェシー」
と呼ばれてい
ます。

アフリカのケニア共和国の出身ですが、九年前に仙台育英高校に留学に来ました。卒業後は日本の短大で学び、その後も日本で働いてきました。高校在学中は二年生の時に全国高校女子駅伝大会に出場して初優勝のテープを切る幸運に恵まれました。初めて日本に来た時のカルチャーショック、言語や習慣の違う環境で生活する苦労など、それは大変でした。日本での生活経験から一番強く感じていることは、日本の人達はやがままで我慢ができないことです。私のケニアは貧しいが我慢をすることを知っています。そして自分の国に誇りを持っています。世羅高校での私の最大の目標は全国高校女子駅伝で世羅高を優勝をさせることです。頑張ります。

同窓生より

世羅高校の祖師 「千葉三郎先生」 の物語



藤井 志郎 (昭15中卒)

現在世羅町京丸の天神社に残る千葉三郎先生の校世館設立の由来記によると、「神前に一本の幼梅を植え、成長の後希くは、この余の建学の精神が、この樹に止まりて、馥郁たる寒香を放ちて、長くこの世羅の地に、地方教育のいや栄えんことを祈る。」といった切々たる想いを残して、世羅の地を去って行かれました。現在世羅町京丸を走る国道四三二号線沿いに立っている千葉三郎先生の碑、草茂り苔むし埃にまみれたこの碑をみて、これが、現在の世羅高校の前身である校世館設立の千葉三郎先生の碑であることを想い、車を走らす人が幾人いることであろう。校世館は、今を去る百五十年前、一八九六(明治二十九)年に奇縁により、現在の世羅町、当時の西大田村京丸七四九番地、穴山嘉作氏の土蔵を借りて呱呱の声をあげたのです。

この校世館(設立時は甲西会)なるものが、誕生した所以を推測するに、はからずも一八九九(明治二十二)年頃より当時沼隈郡千原村(現沼隈町)で小学校の教師をしていた山本滝之介なる人が、明治新政府になっても、希望を失った田舎の青年たちの墮落した状況に目を向け、青年の奮起を促すとともに、青年会を結成し、演説会を開き、中等教育を受けられない青年の資質の向上に努力されました。かかる状況の中にあつて、世羅郡西大田村京丸の地にも「京丸青年同志会」が存在していたことが知られています。この京丸の地に私立甲西会なるものが創立されたことは、けだし山本滝之介先生の影響の結果と思われる。千葉三郎先生は一八七〇(明治三)年十二月、当時の芦品郡福相村相方に父、文右衛門の三男として生れ、幼くして学問を好み神童とまで称され、若くして笈を負いて東都に学び、後東京物理学校に学ばれ、卒業後は郷里に帰り、福山英和学館等にて教鞭をとつておられましたが、たまたま親戚にあたる西大田村大字賀茂の栗原氏宅(喜久社丹酒造)を訪れての帰途、やはり当時京丸にあつた居酒屋折重シマさん宅で、穴山嘉作と出会い、当時青少年たちに台頭しつつあつた京丸青年同志会の影響もあつて、子女の教育のことに話が及び、終に京丸の地に私立甲西会なるもの

医療法人 社団

藤原 眼科

〒722-1121 広島県世羅郡世羅町大字本郷1028番地
TEL08472-2-0077(代) FAX08472-2-2720
●ホームページ <http://www.cisnet.or.jp/~fujiwara/>

ピオ

甲山ショッピングモール
甲山町西上原
TEL(08472)2-3820

が生まれたわけです。当時六山氏宅の庭先にあつた土蔵の如きものを改造し、教場として授業を開始し、実に世羅郡内における中等教育の発祥の地となりました。次いで一九〇〇(明治三十三年)四月、甲西会を岐世館と改称したが、何分、教場が狭くて希望者を収容出来なくなり、翌年一九〇一(明治三十四)年、江木千之県知事の許可を得るとともに、京丸の有志十数名の協力により、同じく京丸梨ノ木に新校舎が建築されました。そこで当時の授業内容をみると、年度により生徒数の増減があり、一様に述べることは出来ませんが、その頃の生徒数は三十名から四十名前後で本科と随意科の二科に分れ、本科は一、二、三年クラスあり、随意科は国語、漢文、数学、英語の教養を高めたり、教員になる師範学校二部入学準備や、警察官を志願するための準備に来る人もあり、十四、五歳より二十歳過ぎまでの者であつたようです。又京丸岐世館時代は年次によつて先生の人数に異動があつたようですが、千葉館長と橋爪先生の二名が主として担当され、大正初年まで本科は一円、随意科は八十銭の月謝だつたようです。生徒の出身地は当時の世羅郡内から歩いて来て学ぶ者もありました。本科は体操を除く全教科で普通の中学校と同じく、随意科は一日三回個別に先生の指導を受けるのです。指導を

先生と一対一で受け、自分の持ち時間が過ぎると、「はい次」と言われ、約十分か十五分の指導時間が惜しまれました。すべて二、三名の先生で全教科を指導されましたが、英語も漢文、数学もすぐれた指導力をもつておられ、この京丸岐世館で学んだ人々の其の後の人生に、生きる大いなる力を与えたことは否定出来ません。所謂松下村塾的な指導で、マンツーマンの師弟一如の勉強で、共に働き、薪炭の労を共にした汗の生活でした。即ち教師も生徒も胸の鼓動を共に感じた教育の場であつたようです。しかしながら岐世館は特定の財団や公的援助を頼つて創設されたものでなく、わずかな生徒の授業料によつて経営されたものであつたため、当時の農村の経済的貧困や又地理的悪条件などが重なり、明治二十九年以来、苦心の経営も、止むを得ざる理由のため、大正三年三月三十一日をもつて郡内甲山町小世良の地に移転することになり、よつて校舎は同年春、これを取り壊す。よつてこの校舎の後に残るものは一片の礎石のみであります。その後岐世館は大正九年郡費により世羅高等補習学校、更に大正十二年、文部大臣の認定を受けて世羅郡学校組合立広島県世羅中学校、更に大正十五年に県立世羅中学校、そして終に終戦後、現在の県立世羅高等学校として発展して参りました。それでは現在

の世羅高等学校の生みの親としての千葉先生はどうなられたのでしょうか。千葉先生は京丸の地の岐世館を去られて、後を後輩の子弟にゆずられ、再び新しい土地を求めて、私塾を開拓されようとされたましたが、惜しいことに病を得て、兵庫県明石市の病院で療養中、即ち岐世館を去られた同年大正五年九月十二日、惜しまれつつ、享年四十八歳の若さで永眠されました。其の後先生の消息は長い年月の間絶えていましたが、最近ようやく判明致しました。現在の新市町相方に、先生のご生家は跡地のみ残り、その裏山に淋しく苔むした先生のお墓が、遠く百有余年の京丸の地を偲び、そして現在の世羅高等学校の姿を眺めておられるような気が致し、苔むした墓の文字をなぞりながら、しばし感慨に耽り、涙を禁じ得ませんでした。思いますに、今世羅高校は百有余年前と同じく、この地域にあつて、どう再生してゆくのだろうか。多くの課題が山積しております。今一度この千葉三郎先生の岐世館創設時代の建学精神を汲みとり、この世羅の地域の教育の再生に懸命の努力を払って行かなければならない時期を迎えていることを痛感致します。

追記一

一九九七(平成九)年、西大田小学校において、卒業学年六年生全員による学習発表の劇「世を岐す」

世羅高等学校の祖師千葉三郎先生物語(当時の橋高精三校長、橋本哲人教諭による。)は地域の人々に警鐘と反響を呼び高い評価を受けました。

追記二

岐世館起源 (京丸天神社にある千葉館長の由来記)

明治廿九年、余ハ感ズルトコロアリ、此地ニ私立学校ヲ創ム。其初メ穴山嘉作ト相画リ、同人ノ別邸ヲ教場ニ充テ甲西会ト称ス。同世四年時ノ知事江木氏ノ認可ヲ得テ中等教育ノ機関トシ、同時ニ校舎ヲ梨之木ニ建築センコトヲ企ツ。当時京丸ノ有志守光逸平、粉山譲太郎、山根武助、杉原幾助、山下利助、金行武市、田口庄七、久保松吉、万谷宇太郎、徳重宇作、内海民助、石堂忠平、平山清四郎、末信末太郎、滝川四三二、大原好藏、平山友平、加ハリテ余ニカヲ併セ七事落成ス。同四拾老年学則ヲ変更シ教員養成所トス。前後通ジテ拾有四年、備サニ苦酸ヲ嘗メ生徒数百名ヲ養成ス。而シテ余ノ素志トスルトコロノモノノ僅カニ達スルコトヲ得タル所以ノモノ、前記ノ有志者並ニ郡内外篤志者が有形ニ無形ニ与ヘラレタルカニ依ル

M lwatani Life-Up マルキチプロパンガス・管工事業 昭和シェル石油特約販売店・住宅機器

小型合併槽のことならおまかせください!

マルキチ株式会社

世羅郡甲山町大字西上原597番地

本社・甲山町SS ☎2-1101
世羅中央SS ☎2-0662

Revolution in Concept

(有) マツダ印刷所

〒722-1112 広島県世羅郡世羅町本郷
TEL:08472-2-0617 FAX:08472-2-2100

奮興起ノコトアランコトヲ期スレバナリ。菅公ハ我国学ノ神ナリ。徳ノ神ナリ若シ不幸ニシテ公ノ仆ルコトアランモ冥々の中神護ヲ地方青年ノ上ニ加ヘラレンコトヲ禱ル。神前ニ、一本ノ幼梅ヲ植エ、成長ノ後希クハ公ノ霊ノ此ノ樹ニ止マリテ馥郁タル寒香ヲ放ツノ時、地方教育ノ弥栄ヘンコトヲ禱ル。

再拝敬白

私立皎世館代表者 千葉三郎

追記三

一八九六(明治二十九)年

広島県芦品郡福相村相方(現新市町相方)の出身千葉三郎氏が、世羅郡西大田村京丸(現世羅町京丸)に居住し、同所穴山嘉作氏と相図り、同氏の別邸を教場に充て、中等教育機関として私立学校を創立し甲西会と称した。

【千葉三郎先生】



【千葉三郎先生の墓】



「太田音次郎校長」を想う



宮沢 大典(昭23中卒)

昭和二十年十月、私は軍服姿のままで世羅中学校「旧制」を訪れた。

「国破れて山河あり」、想起起すと、昭和十八年夏、東京にて陸軍少年飛行兵に志願をした。

昭和十七年三月、青雲の志をいだいて上京したけれども、戦運急を告げ、国に命を捧げんとした運命と相成った。田舎に帰ることもなく昭和十八年九月、陸軍航空通信学校に入校、二十年一月、同校を卒業し鹿児島鹿屋特攻基地に配属させられた。同期生にして特攻で散った者、七百名。

復員して、父の依頼を聞いたのは二十年九月、「医者になって、あとを継いでくれ。」

父の希望をかなえるべく復学を世羅中学に求め、対したのが太田音次郎校長だった。

「お国の為に苦勞さまでした。君は中学四年生に復学できる資格があります。四年生に入れば来年は大学へ入れますよ。」太田校長は親切に教えて下さった。

「いや、私は軍隊で三年も遊んで

しまい、実力がありません。三年生からやり直します。」

「そうですか、惜しいね。」

後日談ではあるが、この太田校長のご指導に従わなかったことで以後の私の人生は大いに、大いにくるってしまつたのである。

「兄戦死」の公報が届いたのはこの頃であった。

昭和二十三年二月、東京医科歯科大学医学部を受験、六百名の志願者で合格者二十名。私は物理、化学満点で一番で合格。

昭和二十年一月、陸軍航空通信学校卒業時、七百名の卒業生中一番にて陸軍航空総監賞、銀時計を拝受私の人生七十年においての幸運時であつたろう。

さて、話を元に戻して太田校長を語らねば・・・

人生、「人の言う事は聞け。」まさに至言である。

太田校長の言う通りに四年生に復学していれば、今頃は医大の教授か大病院の院長か?

今にして遅し。残り少ない人生、楽しく過ごささんと思うこの頃である。

オチコボレの長距離ランナー



末国 規治(昭25高卒)

「先生、懸垂が五回出来ました。」世羅高等学校の前身、世羅中学校入試合格のお礼の為、小学校六年担任の先生を学校に訪ね、お礼の言葉よりも先に、そう言ったので

す。それ程、戦時一九四四年の入試は、体格(体力)検査が重視されていきました。当時、私は瘦身、短軀、運動能力の乏しい貧弱な少年でした。入試を控え、懸垂が一回も出来ず(入試に鉄棒の懸垂あり)、「このままでは入学出来ないぞ。」と言われ、悲観する私に、

先生は「誰でも最初はゼロからの出発だ。一回、二回と努力して頑張れば必ず結果は出る。」と励まされました。

私の家は標高五百メートル、裏山は山陰と山陽の分水嶺に位置し、冬は積雪も多く、時として長靴の上まで来ることもある寒村です。

学校まで片道四里、往復三十二キロもあり、姉の中古自転車修理しながらの通学でした。その自転車も間もなく駄目になり、歩いたり、友人の自転車に乗せてもらったり、学用品をあずけて走って通



スーパーマーケット

三谷屋

■本部 世羅郡甲山町大字西上原字鎌倉880番地5
TEL (08472) 2-2828(代) FAX (08472) 2-2665

学した事もありました。徒歩通学も、片道二時間を要し、冬期は暗い内に家を出て、又、日暮れて帰宅する繰り返し、こんな状態で登校を続ける事は無理だ、もう駄目だ、そんな思いで制服を着たまま寝入った事もありました。

中学だけは、どうしても卒業させてやりたいという親の切なる願いを感じると、休学など、とても言えない。疲れて授業中居眠りし、先生に迷惑を掛けたりもしたが、そのうち少しづつ体力も付き、通学も苦痛とならなくなりました。以後大した病気もせず、中学三年間、高校三年間と六年間一度も休む事なく、なんと卒業出来ました。無論、そこまでは友人達の支援と、先生方のご理解のお陰があった事は言うまでもありません。

「苦しい時、その時こそ忍耐と努力が必要なのだ。」駅伝の練習にも頑張ってきました。入学時、体の弱かった私が、やがて、クラブ活動として、運動部、なかでも過酷な、長距離を選ぶ事になるとは皮肉なものです。

一九五〇年三月、卒業式には都合で出席出来ませんでした。在学中お世話になった校長先生を始め、諸先生方、職員の方々、同窓諸兄の皆様、親しくお礼の言葉が言えなかつた事が、今でも残念に思えてなりません。

一九四七年、体育教諭として、内海先生が赴任され、駅伝部創設

と共に、私も部員として入部し、世羅高陸上部発展の為、些かなりとも力になれた事が、せめてものご恩返しと思っております。

入学時の「オチコボレ」の私をよくここまで育てて戴き、有難うございました。私事で失礼ですが、世羅高は私の「青春」そのものです、今後共、世羅高校の益々の発展をお祈り致します。

卒業した後で



吉宗八栄美 (昭49高卒)

二十七年前の卒業生の一人です。世羅高校に入学した時から、早や、三十年の歳月が過ぎたのです。我が子もすでに、当校を二人卒業したので、当然の事ですね。当時の、年代の風格を備えた講堂や、雨天体操場の使い込まれた建物思い出します。

在学中は、駅伝が優秀な成績をあげていて、それに応援団も結成され、活発な動きがありました。私は、ごく平凡な高校生でありました。クラブは、バレーボール部に属し、試合にも出場した思い出があります。また、何より楽しい先輩や同級生、後輩に恵まれました。地元にありますので、今でも

よく、アドバイスをいただいています。

三年に一度の文化祭の実行委員会が結成され、私は一年の時、参加しました。先輩の方々の顔が分り始めそれぞれの人の特技をまかいま見る事ができました。

卒業後は、農業を目指し、研修を受け、梨作りを始めました。両親が、大豊農園に取り組んでおり、大きな梨園に夢もふくらませておりました。

ところが、養鶏を目指している人との出会いが私の目標を、いとも簡単に、変えてしまいました。私は、間もなくその人に嫁ぎ、はじめて取り組む鶏の仕事をしてると、私の同級生が訪ねて来られ、ふいに「あんた、どうして、ここにおるんか？」と尋ねられる始末。反対に、「どうして訪問されたのかな？」と不思議でした。

主人は、生徒会活動をしており、私の同級生や、先輩はもちろん、私より年下の生徒会本部の方々と仲良くし、それ以上に世羅高の先生方とも深いお付き合いをさせていただきました。

その時、初めて知った私は、「失敗だったな」と思いました。平凡な高校生とは言ったものの、すでに失敗も知られている...。しかし、今さら仕方ない、色々承知の上の事と、開き直りました。先生とも親しくさせていた、だいたお陰で、こんな事もありました。

養鶏の仕事で、ある方程式が出て来て、「ルートマイナス三乗」の答えを出すところがありました。恐らく、高校の数学のこの時間、風邪で休んだようで、全く解けません。恥をしのいで、営業に来られた方々に聞いても、答えが出ません。

主人に話すと、すぐ高校の時の数学の重岡先生(当時転勤されていた)に電話をし、教えてもらいました。

後日、重岡先生は、授業で生徒達に話されたそうです。「卒業しても、聞いてくる者がおる。よく勉強して覚えておくように」と。

正直に申せば、高校で教わった勉強の多くは忘れていきます。でも、卒業してからも、教えてもらえます。親密な人と人とのつながりがあれば、何とでもなる気がします。

家庭から、小学校、中学校、高校へと、接する人の範囲が広がる中、恩師、先輩、友人、後輩と、心通じ合える人は人生の宝ですね。在校生の皆さんは、その宝探しのチャンスです。

主人は、養鶏も、また養鶏農園の花觀光づくりも夢でした。私も、自分なりに、おいしい卵づくり、楽しい花農園を目指しています。

亡くなった主人の許への、みやげ話になる事を願いつつ...

〇 A機器・事務用品・学用品 } 卸・小売
 オフィス家具・教材教具・教科書

コクヨ 森田尚文館
 特約店

森田 努 (S29年卒)

世羅郡甲山町 TEL 2-0136(代)
 FAX 2-3051

Esso

エッソ石油代理店

有限会社 三好石油店

甲山バイパスSS ☎2-1163

本部だより

総会報告

平成十三年度世羅高等学校同窓会総会は八月十九日四十名出席し世羅町本郷「玉之家」で開催しました。小島敏文会長、田邊康嗣校長の挨拶ではじまり、つづいて近畿同窓会長の松尾千久三氏より各支部を代表しての挨拶がありました。

◆総会行事①平成十二年度事業決算報告・監査報告②平成十三年度事業計画・予算案について承認を得ました。

◆陸上競技部の現況報告

◆懇親会 松井正満幹事長の挨拶に続き、広島支部の金田東二氏の音頭で乾杯し懇談が始まりました。今回は近畿同窓会より三名と広島支部からの参加があり総会に花を添えて頂きました。

世羅高校・旧世羅中・甲山高女校歌CDの販売

本校同窓会の運営は毎年の卒業生による入金金二〇〇〇円の収入のみで活動してきておりますが卒業生の数は年々減少しており、同窓会の運営が先細になってきております。併せて同窓会の活動を活性化させる為、世羅高等学校・世羅中学校・甲山高高等女学校の校歌

をCDに収録し希望者に販売すべく準備を進めているところです。販売価格は二、〇〇〇円(送料別)です。購入希望の方は、世羅高等学校同窓会事務局に郵便又はFAXでお申し込み下さい。

TEL 08472-21118
FAX 08472-21524



同窓会本部

中：旧制世羅中学
女：旧制甲山高女
高：世羅高

顧問 田邊 康嗣 (現学校長)
顧問 坂口 裕 (現PTA会長)
会長 小島 敏文 (S44高)
副会長 細美 公香 (S9女)
副会長 高橋 明夫 (S16中)

副会長	近田谷 實 (S18中)	常任理事	田中 一裕 (S45高)
副会長	井上 哲一 (S20中)	副会長	松村 昭治 (S38高)
副会長	三好 英雄 (S26高)	副会長	白雲 勝幸 (S41高)
副会長	田中 信博 (S28高)	副会長	松島 延江 (S28高)
副会長	阿部 玲子 (S29高)	副会長	坂井 弘二 (S39高)
副会長	松山 理人 (S30高)	事務局長	仁田 賢次 (S44高)
副会長	荒谷 稔 (S33高)	書記	近藤 寿 (S56高)
副会長	栗森 武文 (S42高)	書記	上羽場久香 (S53高)
監事	阿藤波健次郎 (S18中)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
監事	森田 努 (S29高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	大前 久男 (S20中)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	木原健二郎 (S25高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	松井 正満 (S26高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	早間 愛子 (S27高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	伊藤 陽康 (S28高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	井口 紀介 (S33高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	宗藤 毅 (S34高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	玉浦 洋明 (S49高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	溝上 尚美 (S22中)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	新谷 博夫 (S45高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	助迫 慎治 (S52高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	間処 泉蔵 (S40高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	藤井 志郎 (S15中)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	黒木 正 (S20中)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	黒木 武彦 (S24高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	小林 新高 (S20中)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	岡本 森夫 (S21中)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	小川 滝水 (S24高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	石原 正俊 (S28高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	波田 幸代 (S37高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	谷光 雄 (S42高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	阿部 文壮 (S54高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	神田 敬州 (S57高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	羽場 克己 (S30高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	井口 公子 (S37高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)
常任理事	後藤審三郎 (S42高)	事務局長	坂井 弘二 (S39高)

同窓会支部

世羅高等学校東京校友会 会長 秦 典三 (S20中)

世羅高等学校同窓会名古屋支部 支部長 西谷 強 (S17中)

世羅高等学校近畿同窓会 会長 松尾千久三 (S25高)

世羅高等学校同窓会福山支部 支部長 平林 光司 (S27高)

世羅高等学校同窓会三原支部 支部長 小池 哲馬 (S38高)

世羅高等学校同窓会呉支部 支部長 杉山 弘子 (S28高)

世羅高等学校同窓会大原支部 支部長 大原 重徳 (S33高)

世羅高等学校台湾同窓会 支部長 陳 振茂 (S16中)

土木工事業・りゅうおう床土製造・かべ土・やね土販売

有限会社 龍王

世羅町賀茂1024 ☎7-1231(代) FAX7-1232

地域とともに大きなふれあい

株式会社 山平組

代表取締役 山平正登

甲山町別迫711 ☎(08472)4-0111(本社)
☎(08472)4-0226(工場)

同窓会地域便り

台湾同学会

会長 陳振茂 (S16中)



世羅高校一八会・第十一回同期会 2001.10.24.

茂会長の郷里であり、村を挙げての歓待を受け盛大な昼食会へ招待された。この席には前会長の名代としてご令息の葉達雄氏も参加下さった。台湾の先輩達の信義の厚さに感涙した旅でした。

同学会メンバーは六十五名、高令の人も多くなり、会への参加者も年々少なくなっているが、それでも春秋年二回台北市で開催されていたが本年は在郷者の多い南部の高雄市で行われたと聴きました。

小川 滝水 (S24中) 記

東京校友会

会長 秦 典三 (S20中)

近況報告

本年十月、世羅中十八年入学(二十三年・二十四年卒)一行二十名は台湾留學生(陳恒盛(副会長)・陳茂永・邱竹友・龔錫霖)四名と台湾・屏東市で級会を開催した。その後、母校の国際交流候補校と目されている屏東県立大同高級中学を訪問した。台湾の人は今や「世界に雄飛する人材」を育成することに切実な願いをもち、その想いはこの学校にもこめられていた。大理石の壮大な建物もさることながら、生徒の生活態度、向学心の凄まじいまでの真剣さは唯々感嘆の外なかった。

我々は南端の車城を廻り帰国した。車城は、八十才を迎えた陳振

いるところです。

近畿同窓会

会長 松尾千久三 (S25高)

近畿同窓会近況報告

平成12年 6月11日 総会(大阪心斎橋大成園) 役員改選 会長 松尾千久三 8月20日 母校、12年度総会 5名参加 11月19日 新役員会 12月3日 役員会 母校同窓会報2号の発送準備 (近畿在住会員835名) 12月22日 校長・陸上部長来阪により陣中激励

東京校友会

会長 秦 典三 (S20中)

◎第二十二回東京校友会総会・懇親会を平成十二年十一月十九日、丸の内の山水楼で開催し、五十余人が出席しました。第二十三回の総会は十三年十一月十八日に開催します。前回並みの出席を予定しております。

◎会報第十二号を十三年四月、第十三号を十月に発行しました。この会報はご希望があればお送りします。

◎平成五年以降に卒業された方で、新しく首都圏に転入された方の情報が無く困っております。若い人たちに喜んで加入していただけるような魅力的な校友会とするためにはどうすればよいのか、みんなで話しあいながら、がんばって

福山支部

支部長 平林 光司 (S27高) 福山支部は昨年十一月十一日、初めての同窓親睦会を開きました。本部から以前戴いた名簿では三百人近い同窓生が福山圏内におられ

るのですが、とりあえず、第一回卒業(昭和二十五年)から昭和三十三年卒業までの方に声をかけてとなり、百人近い方に連絡した結果、八十一名の名簿が出来あがりました。当日は二十八名のご参加を戴き、内海富海雄さん(二十八年卒、世羅高駅伝部創設の名監督のご長男)の司会で、まず自己紹介から始まり、アルコールが入るにつれ、だんだん三十〜四十年前の若かりし面影(美男・美女)が蘇り、盛り上がりました。今年は恩師達(千葉清士先生も八十歳すぎても矍鑠)もお呼びして、十一月中旬にと、駅伝をはじめとして世羅高の発展を祈りつつ。

呉支部

副支部長 大原 重徳 (S33高)

世羅台地の風が吹く! 第五回目の「世羅の集い」(総会・懇親会)は、平成十三年四月七日の土曜日に行われた。午後六時にビューポイント呉ホテルに集まったのは九名で、今年は何年よりやや少なかつた。会場には、世羅の地に育った土筆の小さな鉢植えも配布され、一瞬、世羅台地の春の風が吹き抜けた。

それぞれの学生時代の話、地域の話、駅伝の話、現在の世羅高校の話など、大いに盛り上がり、懐

かしい世羅の地と共に、生きてきた時代に思いを馳せた。呉地区の同窓生の皆様方のご健康を祈りながら、来年の再会を約して散会した。

編集後記

「世羅高同窓会々報」第三号をお届けいたします。

当会報発刊については、費用面での問題で、本号から同窓生や地域の皆様からの賛助協力の広告代をもつて発刊継続することになりました。今回の発刊に当たり、出費多端な折柄、早速ご協力をいただきました方々に、心より厚くお礼を申し上げます。

あの不幸な出来事から二年余、「学ばせたい学校」「学びたい学校」をスローガンに、学校長を先頭に教職員一丸となり、努力を積み重ねられてきている結果、「いい校風」が醸成されている姿を目のあたりにして、意を強くしています。

枚数に限りがありますが、「同窓会々報」を通じて、母校への思いを深め、同窓生は言うまでもなく、地域の人達相互の連帯を、より強力に推進できれば幸甚に思います。 編集委員一同

編集委員 黒木 正(S20年卒) 溝上尚美(S22年卒) 伊藤陽康(S28年卒) 石原正俊(S28年卒) 仁田賢次(S44年卒)